

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り			8. 備考 (残留リスクについて)
			頻度	可能性		頻度	可能性	リスク	

中間処理(選別・分別・混合)

選別 (建設廃棄物)	機械選別と手選別を同じフロアで行うため、バシクホートとその近くの作業者が衝突し、全身を打撲する。	保護具の着用	4	2	6	IV (12)	誘導員を配置	2	1	6	III (9)	作業手順書の作成
選別 (建設廃棄物)	木屑に釘等の金属物が付着していて、選別作業者が踏み抜き、足を怪我する。	安全教育の励行	4	2	3	III (9)	・廃棄物の上にながらな い、 ・安全靴の検討	1	1	3	I (5)	
選別 (建設廃棄物)	選別作業中に薬剤等のビン類にシンナー系の溶剤が残っていて、有害物が作業者の目に入る。		1	1	3	I (5)	投げない 防護メガネの着用	1	1	3	I (5)	受け入れ基準書の作成
選別 (建設廃棄物)	選別設備の手選別で不純物を取り除いている時、手袋が突起物に引っ掛かり、ベルトに手を挟まれ、骨折する。	作業にあつた手袋の使用	4	4	6	IV (14)	センサー停止装置を設 置	2	1	3	II (6)	挟まれ防止装置 の設置
選別 (他固形物)	廃棄物を選別中、作業者が適切な保護手袋をしていなかったため、混入していたガラス・金属片等で手を切る。	皮手袋を使用	2	4	3	III (9)	皮手袋の下にケブラー 製手袋を着用	1	1	3	I (5)	鋭利な鉄屑等が手に刺さ るリスクは残る。
選別 (他固形物)	コンベア上の廃棄物から、金属を選別している時、作業用前掛けがコンベアに巻き込まれ、作業者が腕を挟まれる。	前掛けの着用	4	4	6	IV (14)	前掛けの使用をやめる	2	1	6	III (9)	頻度は大幅に減るが着 衣が巻き込まれるリスク は残る。
選別 (他固形物)	廃棄物をガスで切断していた時、密閉部分があり、この部分が熱により膨張・破裂し、作業者の頭部に破片が激突する。	作業前に指差し呼称で確 認	1	4	10	IV (15)	事前に排出者から情報 収集 密閉物についてはカッ ター等を使用	1	2	3	II (6)	シャワーを導入す る。
選別 (他固形物)	たがねを使用しねじを切断中、保護メガネをしていなかったため、ねじが飛散し、作業者の目にあたり失明する。	作業前に指差し呼称で確 認	2	2	10	IV (14)	たがねの使用を中止 し、エアードライバーを 導入	1	1	3	I (5)	エアードライバーでケガをす る
選別 (他固形物)	廃棄物の中からパッテリーを取り出そうとした時、無理に引っ張り出し、作業者が感電する。	作業前に指差し呼称で確 認	1	4	3	II (8)	パッテリー取り外しの際 には、ゴム手袋を着用	1	1	3	I (5)	
重機作業 (建設廃棄物)	重機で作業中、傾斜地で廃棄物を掴んだまま旋回し、重機が転倒し、オペが全身を打撲する。	傾斜地の作業前確認	1	2	6	III (9)	積荷旋回作業は平坦地 で行う	1	1	1	I (3)	
重機作業 (建設廃棄物)	重機作業中、ブームを上げたまま運転席から離れた時、ブームが下がり、ブームが作業員に激突し、頭部を強打する。	ブームを稼地してからエン ジンを切り、走行ブレーキ を掛ける	2	2	10	IV (14)	・重機への旋回範囲へ の立入禁止を励行する ・キーを抜く ・ブーム稼地の教育	1	1	10	IV (12)	修理時には、安全 支柱、安全プロッ ク等の歯止め
重機作業 (建設廃棄物)	重機作業中、他の作業業者や受付を過ぎない見学者や下請け関係者が、重機の死角の旋回範囲内に入り、オペが気づかず旋回したため、激突し全身を打撲する。	・旋回範囲内立入禁止 ・グレー・バー合図の励行	2	2	6	III (10)	誘導者を配置	1	1	6	II (8)	路肩の崩壊地盤 を確保、必要な幅 員の保持